

博物館：特別展示室

2014年2月18日(火)～5月11日(日)

## 三線のチカラ 一形之美と音の妙一

三線展の見どころをどのような作ればいいのか。15年前、当館で行なわれた三線展との違いを示すことが思案のしどころであった。まずは、具体的な絵の世界から三線の世界に入ってもらうことにした。進貢船の図や那覇港図の絵画資料の中に、微細に描かれた三線を発見することができる。そのささやかな描写にウチナンチュの執念を感じ、人々の歓喜の大きさを改めて確認することができる。

この展示会では、三線の形之美を強調する展示を考えたいと思った。三線鑑賞の妨げにならないようアクリルの三線立てを新調し、斜め45度のプロポーションを見せたいとも考えた。天の反り、鳩胸の形状、この二点をつなぐ弧の形はとても美しく、優しい。三線は美人のモデルの如く様々な表情をみせてくれた。

さて、新しい知見とは楽器としての再確認する行為である。琉球王国時代の三線の音色はどんなものであっただろうか。冊封使や將軍の御前で演奏された三線の音色はどうであっただろうか。かつての音色を絹絃と弱い蛇皮のチーガ張りで見直しを試みた。その音色を現代人はどのように捉えるか、試せるよう参加型体験型展示を作った。

歴史学者東恩納寛博は、「三線は国家の品格と期待を担った。」と記した。今年度上半期のパワースポットは実は博物館の三線のチカラ展にある。古三線は王国時代、激動の明治や沖縄戦をくぐってきた強運の三線たちである。

どうぞ三線のチカラをご堪能あれ。(博物館 園原謙)



右から  
盛嶋開鐘  
翁長開鐘  
志多伯開鐘  
湧川開鐘  
富盛開鐘  
江戸与那

一般：500円(400円) 高大生：300円(240円)  
小中生：200円(160円) ※()内は前売り及び20名以上の団体料金  
※三線のチカラ展は年間パスポートでご覧いただけます。

### 博物館ボランティア



**展示ガイド**博物館常設展の展示解説をします。

**ふれあい体験室**来場者とお話ししながらキットの解説をします。

**民具体験**子ども達に、昔の民具を通して先人達の知恵や工夫を伝えます。

**資料整理**沖縄の歴史・文化・政治に関する新聞記事のスクラップをします。



博物館：民具体験サポート



美術館：鑑賞ガイド

ボランティア一人一人が、博物館・美術館を舞台にそれぞれの得意分野を生かした活動を積極的に行なっています。  
今年度は博物館・美術館ともにボランティア募集を予定しております。興味のある方はぜひ、お問合せください。

### 美術館ボランティア



**資料整理**沖縄の美術に関連する新聞記事のスクラップ他、美術雑誌や図録から、作家情報を集める活動をします。

**鑑賞ガイド**鑑賞授業のサポートとして、子ども達と会話をしながら作品鑑賞を楽しみます。

**ワークショップ**体験教室などのサポートをします。

美術館：企画展示室

2014年4月4日(金)～5月6日(火)



「追憶Ⅳ」  
(谷崎潤一郎『痴人の愛』のモデル・和嶋せい)、1998年

## すすむ 木下 晋 展 いのち 生命の旅路

鉛筆という最もシンプルな画材で、人間の肌の質感や皺まで克明に描く木下晋の鉛筆画。モデルとして登場するのは放浪癖のあった実母や認知症を患った老人、ホームレスなどその多くは孤独や心の闇を抱えて生きる人々です。

木下は「自分が描きたいと思った人物しか描けない」といいます。彼自身もまた幼少期に一家離散を体験し、痛烈な孤独を抱えて生きた一人でもありました。そんな彼は「描くことではなく、その人(モデル)を知ること」が最も大事だといっています。その言葉が示すように、創作姿勢は常にモデルに向き合うことに一貫しています。だからこそ彼が描いた鉛筆画は、単なる細密画では括れない圧倒的な存在感を放ち、見る者の心に深く残るのでしょう。

本展は、16歳の時に描いた《起つ》をはじめとする初期油彩画から、昨年完成した鉛筆画《合掌図》まで、木下晋の50年にわたる仕事を一望する構成となっています。各時代の作品の変化をご覧いただきながら、一つひとつの作品にゆっくりと対峙する時間を過ごしていただければと思います。

(文化の杜共同企業体 金城美奈子)



「ハルばあちゃんの手」絵本原画、2005年

一般：800円(640円)  
 高大学生：500円(400円)  
 小中学生：300円(240円)  
 ※( )内は前売り及び20人以上の団体料金  
 木下晋展は美術館の年間パスポートでご覧いただけます。

お得な

## 年間パスポート

※2014年4月より

70歳以上のパスポートの種類が新しく加わりました!

年間パスポート種類					
料金表(名様)	一般	高校 大学	県外 小中	県内 小中	70歳以上
博物館 常設 企画 特別展	¥3,700	¥2,300	¥1,200	¥850	¥3,000
美術館 コレクション 企画 特別展	¥3,900	¥2,600	¥1,300	¥1,000	¥3,000
博物館 美術館 すべての展示 対象外あり	¥7,000	¥4,500	¥2,500	¥1,800	¥6,000

※一部対象外もございます

年間パスポート特典

- ①作ったその日から1年間の有効期限。
- ②展覧会を何度でもご覧いただけます。
- ③来館ポイントでプレゼントをゲット!

新入学・新社会人などの贈答用に♪

お問い合わせ  
館内情報センター：098-941-1187





5月イベントカレンダー

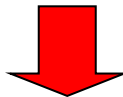
5月イベントカレンダーの月別リスト。3日土曜日に「三線のチカラ展」開催。4日、5日、7日、10日、11日、13日、14日、17日、20日、24日、26日、27日、31日土曜日に各種講座、ワークショップ、展示会が開催される。

■観覧料金 改定のお知らせ■

2014年4月1日より消費税増税に伴い、観覧料が変更になります。

2014年3月まで

2014年3月までの観覧料金表。区分：一般、高大生、県外小中生。展示場：博物館常設展、美術館コレクション展。料金：個人/団体別。



2014年4月1日より

2014年4月1日からの観覧料金表。区分：一般、高大生、県外小中生。展示場：博物館常設展、美術館コレクション展。料金：個人/団体別。

当館では観覧料をはじめ、施設利用料・ミュージアムカフェ茶花・ミュージアムショップゆいむいなど、消費税増税に伴い料金の変更がございます。ご理解の程、よろしくお願い致します。

■編集後記■

新年度となり、「はくび通信」も初刊発行から3年目を迎えます。今年度も博物館・美術館では多彩な展覧会を企画しておりますので、ご期待ください。

「はくび通信」発行窓口 館内情報センター：098-941-1187

■博物館・美術館からのお知らせ■

- 沖縄県立博物館・美術館では平成19年の開館以来これまで、施設利用料に係る消費税を二重に計算し利用料金を徴収していた事が明らかになりました。県民及び関係者の皆様に深くお詫びするとともに、誤って加算した分は全額返還することとし、対象者全員に返還手続きについてご説明いたします。返金等に関するお問い合わせは文化の杜共同企業体にお願致します。
●2014年4月より消費税増税に伴い、入場料金が変わります。ご理解の程、宜しくお願い致します。

■沖縄県立博物館・美術館 ■■■

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1
TEL:098-941-8200 FAX:098-941-2392
☆開館時間：9：00～18：00（金・土は20：00まで）
※入館は閉館30分前まで ☆休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は、翌平日が休館）

http://www.museums.pref.okinawa.jp



6月イベントカレンダー

6月イベントカレンダーの月別リスト。2日、3日、7日、10日、11日、12日、14日、15日、16日、21日、22日、24日、28日、30日土曜日に各種講座、ワークショップ、展示会が開催される。